

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課	■担当係	産業連携係
■評価事業名称	産業連携推進事務		
■事業開始年度			
■評価事業コード	060200 - 103	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	01 産業間連携の促進	
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	農業を起点とし、生産、流通、加工、販売の過程において付加価値向上を図る取組みを支援する。また、産業連携による新たな経済活動を促進し、地域経済の発展に寄与することを目的とする。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	産業連携推進事務	農業を起点とし、生産、流通、加工、販売の過程において付加価値向上を図る取組みに関係する事業者	○6次産業化、農商工連携の推進	○6次産業化支援対策会議参加(10/17)○6次産業化情報交換会参加(10/30、3/11)○6次産業化先進地視察研修参加(12/18)○6次化デザイン交流会参加(2/7)○6次化実践研修会参加(2/12)○食のビジネス交流会参加(6/11、2/27)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	306	152	389	349	
人件費	3,798	2,337	2,518	999	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,104	2,489	2,907	1,348	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

農業の6次化について相談があり、産業支援センターのアドバイザーとともに、経営者の状況に応じ、支援メニューの提示やアドバイスを行った。

問題点・課題等

6次化を計画している農家等の情報について農林部と共有を図る必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

商工部、農林部、産業支援センター、農業支援センターが一体となり6次化支援に取り組むシステムの構築が不可欠。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了